

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

広域観光戦略推進事業 49万円

(担当：田園観光課観光振興係)

平成23年7月7日に「ゆっくりひとめぐり栗駒山麓連絡会議」の設立協定締結式を開催しました。

豊かな自然資源、動植物、温泉、歴史と文化など多彩な観光資源を有する栗駒山麓をめぐる、秋田県湯沢市、宮城県栗原市、岩手県一関市及び秋田県東成瀬村の観光振興について、県域を越えて広域的に連携し、地域の活性化を図りました。



ゆっくりひとめぐり栗駒山麓観光写真コンクール表彰式

くりはら交流プラザ改修事業 1億410万円

【H24年度への繰越額 633万円】

(担当：市民協働課地域振興係)

くりはら交流プラザ(エポカ21)の空調設備改修や公共下水道接続、更には地上波デジタル放送対応テレビなどの整備を実施し、より快適な空間の提供及びサービスの向上に努めました。

くりはら田園観光都市創造事業 241万円

(担当：田園観光課観光企画係)

豊かな自然や伝統文化、特産品など地域資源を活用しながら、すべての産業が連携して実現する「くりはら田園観光都市」の創造を目指し、資源調査、地域づくりインターン事業、くりはら観光塾などに取り組みました。

観光施設整備事業 7,096万円

【H24年度への繰越額 5,630万円】

(担当：田園観光課観光振興係)

ハイルザーム栗駒、花山温泉温湯山荘、金成温泉金成延年閣などの観光施設の整備事業を行いました。



改修後の金成延年閣大浴場



観光に関する知識や動向、事例などの学ぶ場として開催した「観光産業づくりシンポジウム」



商店街活性化事業 108万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

商店街の活性化に向けて、空き店舗を活用する事業者に対して、賃借料の一部を助成しました。

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

(1) 小さなコミュニティを大切にしたい地域づくりを推進します

 新規事業、 拡充事業 (事業名の頭に標記)

住民自治活動助成事業

6, 394万円

(担当：市民協働課市民協働男女参画係)

「市民が創るくらしたい栗原」を目指し、各地区の自治会やコミュニティ推進協議会の創意工夫による自主的なコミュニティ活動を支援するため、一括交付金を交付しました。



健康教室での様子

(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します

男女共同参画推進事業

36万円

(担当：市民協働課市民協働男女参画係)

男女が互いに尊重し合い、個性と能力を十分発揮しながら、共に地域活動に参画できるよう、地域リーダーの養成講座や講演会等を開催しました。

栗原市市民活動支援センター運営事業

730万円

(担当：市民協働課市民協働男女参画係)

NPO（特定非営利団体）やボランティア団体など、市民活動を行う方々の活動拠点として運営を行い、市民活動の活性化を促進しました。

(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います

郵便局窓口交付サービス事業

103万円

(担当：市民課市民係)



最寄の総合支所から離れている地区及び出張所を廃止した地区にある、栗駒沼倉・栗駒文字・一迫金田・鶯沢秋法の4郵便局で、各種証明書等の交付サービスを実施しました。



郵便局窓口での交付サービス

6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します

(1) 水と緑、山の再生へ

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

集落支援対策事業

322万円

(担当：市民協働課市民協働男女参画係)

高齢化率が高い花山地区に集落支援員を配置し、集落の巡回を行いながら現状や問題点の把握、さらには集落の将来あるべき姿などについて、「住民と住民」「住民と行政」との話し合いを行い地域の実情に応じた集落の維持や集落対策を行いました。



花山小豆畑地区の世代間交流事業の様子

栗駒山交通渋滞対策事業

192万円

(担当：田園観光課観光振興係)

栗駒山を訪れる方に震災からの復興状況と栗駒山の紅葉を堪能していただくため、秋の紅葉シーズンに渋滞対策として感謝の気持ちを込め、シャトルバスの運行を実施しました。



シャトルバスの運行による渋滞対策の様子



訪れる人を魅了する栗駒山の紅葉

中小企業災害復旧融資利子補給補助金（平成20年岩手・宮城内陸地震分）

232万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

中小企業者が金融公庫等から融資を受けた災害復旧対策資金の利子の補給を行い、災害の早期復旧を支援しました。

6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します

(1) 水と緑、山の再生へ

新 栗駒山麓崩落地・景観活用事業

39万円

(担当：田園観光課観光企画係)

崩落や地すべりなどの被災した栗駒山麓の地形・景観を、震災の経験と記憶を後世に伝える貴重な資源として、防災教育・学術研究・観光の場などに幅広く活用し、地域の活性化の具体化を目指して、大学教授などの専門家や関係機関との推進を図りました。また、ジオパーク認定に向けて取り組みを始めました。



荒砥沢上流部の地すべり崩落現場



栗駒山麓崩落地・景観活用将来ビジョン提言の様子

ブロック塀等除却・生垣等設置助成事業

244万円

(担当：建築住宅課建築係)

災害発生に備え、倒壊のおそれがあるブロック塀から命を守るとともに、緊急車両などの通行を確保するため、除去工事の費用を助成しました。

また、除去後の生垣の設置に対して費用を助成しました。



対策前



対策後

7 特別会計・事業会計予算の主な事業

新＝新規事業、**拡**＝拡充事業（事業名の頭に標記）

特定健康診査・特定保健指導事業
(国民健康保険特別会計) 4,534万円
 (担当：健康推進課医療給付係)

特定健康診査とともに、※メタボリックシンドロームやその予備軍を発見し、生活習慣を改善させる保健指導を実施しました。

※メタボリックシンドローム

内臓脂肪型肥満によって、さまざまな病気が引き起こされやすくなった状態。

後期高齢者医療制度 7億4,549万円
(後期高齢者医療特別会計)

(担当：健康推進課医療給付係)

75歳以上の高齢者の方（一定の障害のある方は65歳以上の方）を対象にして、安定的な医療の提供を目的に、保険料の徴収や医療の適正化に取り組みました。

認知症対策事業
(介護保険特別会計) 734万円
 (担当：介護福祉課認定調査係)

認知症になっても地域で安心して暮らせるまちづくりを目的として、認知症予防教室や研修会を開催し、認知症の方とその家族を支援しました。

また、認知症の早期治療のため、専門医による認知症外来を実施しました。

給水車購入事業
(水道事業会計) 993万円
 (担当：水道課施設係)

災害や漏水などにより、水道水を供給できなくなった場合の緊急給水に備え、加圧式給水車を購入しました。



緊急時に備え購入した給水車

介護予防事業
(介護保険特別会計) 1,268万円
 (担当：介護福祉課認定調査係)

運動機能や口腔機能の向上・栄養状態の改善・閉じこもり予防に関する講座を開講し、高齢者が要介護状態にならないよう支援しました。

また、元気な高齢者がより健やかに自立した生活を送れるよう、運動や認知症予防の教室を開催するほか、介護予防について、一般市民への普及啓発を促進しました。



認知症サポーター養成講座の様子

水道施設整備事業 1億3,819万円
(水道事業会計、簡易水道事業特別会計)

【H24年度への繰越額8,013万円】

(担当：水道課施設係)

水道水の安定供給や災害時の備えを目的として、古くなった水道本管やその他の水道施設を交換・修理する工事を行いました。



公共下水道事業 2億2,818万円
(下水道事業特別会計)

【H24年度への繰越額6,806万円】

(担当：下水道課施設整備係)

湖沼や水路などの自然環境を守り、生活環境の改善を目的に、汚水処理管路施設工事等の事業を行いました。(管路工事1,783m)

7 特別会計・事業会計予算の主な事業

 新規事業、 拡充事業 (事業名の頭に標記)

戸別浄化槽設置事業(市町村設置型)
(合併処理浄化槽事業特別会計)
1億5,774万円
 (担当：下水道課施設整備係)


湖沼や水路などの水質保全と生活環境を改善するため、公共下水道事業・農業集落排水事業の計画がない区域を対象に、申請に基づく市設置浄化槽を145基設置しました。



水洗化をPRした水洗化促進展

浄化槽整備事業(個人設置型) (合併処理浄化槽事業特別会計)
402万円
 (担当：下水道課総務管理係)

湖沼や水路などの水質保全と生活環境を改善するため、公共下水道事業が計画されている区域内で、下水道が当分の間整備されない区域を対象に、浄化槽設置者に対して設置に要する費用の一部を助成しました。(12件)


 **医師住宅整備事業**
(病院事業会計)
1億277万円
[H24年度への繰越額560万円]
 (担当：医療管理課経営管理係)

医師招へいのため、老朽化した市立病院医師住宅の建て替えを行い、医師が働きやすい環境を整備しました。

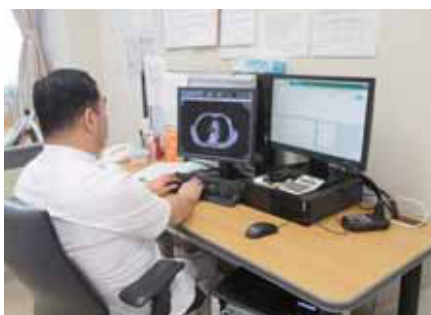
医師住宅4棟建設(栗原中央病院1棟、若柳病院3棟)

農業集落排水事業
(農業集落排水事業特別会計)
272万円
 (担当：下水道課施設整備係)

農業用水や湖沼や水路などの水質保全と生活環境を改善するため、汚水処理事業を行っており、公共汚水ます設置工事などを行いました。

 **医療機器整備事業**
(病院事業会計)
6億1,627万円
 (担当：医療管理課経営管理係)

医療の充実とサービスの向上を図るため栗原中央病院の総合医療管理システム(電子カルテ)の整備や市立3病院の医療機器の更新等を行いました。



電子カルテで画像診断を行う医師

医学生修学一時金貸付事業
(病院事業会計)
2,280万円
 (担当：医療管理課総務係)

市立病院及び診療所への医師招へいを図るため、将来、市立病院及び診療所に医師として勤務しようとする医学生に対し、修学一時金を貸し付けました。

※貸付者数 平成17年度～平成23年度：14人

看護学生修学資金貸付事業
(病院事業会計)
540万円
 (担当：医療管理課総務係)

市立病院及び診療所の看護師確保を図るため、看護師養成施設に在学する学生で、将来、市立病院及び診療所に看護師として勤務しようとする学生に対し、修学資金を貸し付けました。